

令和2年度

栃西中だより

第8号

R3.3.18 発行

文責：小林勇夫



学校教育目標

- 進んで学ぶ生徒 (自主)
- 最後までがんばる生徒 (根性)
- 人のためにつくす生徒 (奉仕)

スローガン： やる気 笑顔 感謝

〔第74回 卒業式〕

3月11日(木)栃木西中体育館にて卒業式を挙行了しました。確かな成長を感じる卒業生172名に卒業証書を手渡しました。厳粛な雰囲気の中、一人一人の表情に栃木西中学校の卒業生として、喜びの晴れやかさとともに、新たな人生への出発の決意が感じられました。式辞では、卒業生に自分の卒業証書を見てもらいながら、卒業証書に込められている意味についてのお話をしました。

新型コロナウイルス感染症対応のため、時間縮減、必要最小限の参加者で行うこととし、式次第の縮小、在校生代表者の出席、ご来賓の参列の見合わせ、そして、ご家族から2名までの出席とさせていただきます。卒業生や保護者の皆様にとって、かけがえのない行事でありますので、本校教職員一同、心を込め、温かみのある卒業式となるよう努めました。卒業生保護者の皆様をはじめ、1・2年生保護者の皆様には、ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。心より御礼申し上げます。



〔卒業式予行〕

3月10日(水)に行いました。卒業式当日に出席できない2年生は、卒業生とのお別れの時となりました。予行での卒業生退場では、お花のアーチやメッセージを掲げ、感謝の気持ちを表していました。



〔3年生を送る会〕

今年度は感染症予防のため、体育館での開催ではなく、生徒達は会議室からのリモートによる感謝のメッセージ・思い出のスライドショーを各教室のテレビで見ました。在校生は、生徒会本部や各クラス毎に卒業生に対して、趣向を凝らしながら感謝の気持ちを表わす楽しいVTRを作っていました。また、卒業生への記念品として、在校生からタンブラーが贈られました。



ゆる気
笑顔
感謝

〔先輩に学ぶ〕

小中一貫教育推進事業の一環として、2月25日(木)に実施しました。栃木中央小、栃木第五小へ1年生の代表(36名)が、出身小学校へ行き、小学6年生からの質問等に答えました。少人数グループでの活動で、中学生としての自覚をもって楽しい雰囲気をつくりながら、6年生の入学への不安を軽くするよう努めていました。



ごあいさつ

栃木市立栃木西中学校長 小林勇夫

本校に赴任して2年間、大変お世話になりました。3月31日をもって定年退職となります。

この2年を振り返ると様々なことがありました。1年目の5月には、元号が「令和」となり新しい時代が始まりました。生徒達は、授業・行事・部活動等に積極的に臨んで、素晴らしい結果も残していました。10月の予想だにしなかった台風被害。校舎1階が床上浸水となった状況を目の当たりにして呆然となりました。しかし、すぐに生徒達をはじめ、保護者の皆様に清掃・片付けを行っていただき、一日も休校せず授業を再開することができました。本当に有り難かった。その2週間後に開催した西中祭では、生徒達が生き生きと活動し大成功を収め、地域の方々に元気を届けることができたと思っています。そして、3月からの突然の一斉休校。新型コロナウイルス感染症は、令和2年度末まで影響し、行事等の縮小・中止を余儀なくされました。制限が多い中で生徒達は学校の価値を再認識し、困難な状況を十分に理解し、新しい生活様式を実践しながら、前向きに、与えられた環境の中で精一杯楽しんでいたようです。今年度の運動会・合唱コンクール・西中祭・駅伝大会は、どれも感動的で胸が熱くなりました。コロナ禍ではありましたが、伝統ある栃木西中学校で、素晴らしい生徒や保護者の皆様と活動し、私にとっても、良い思い出をたくさんつくることができました。ありがとうございました。

最後に、栃木西中学校のますますの発展と皆様のご健勝を祈念申し上げます。

